

<b>1 建物概要</b>		BEE	1.9	A	★★★★★
建物名称	京都府南警察署	使用CASBEE評価マニュアル CASBEE京都-新築 (2011年版)			
延床面積	5,848 m <sup>2</sup>	使用CASBEE評価ソフト CASBEE京都-新築2011(v.1.2)			
用途	警察署(庁舎・公舎)				

<b>2 重点項目への取組度</b>	
キーワード	取組度
1 大切に使う	
2 とともに住まう	
3 自然からつくる	

### 3 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

<b>1 大切に使う</b>		合計点	26 / 43
<b>■長寿命化</b>		合計点	12 / 20
◇メンテナンスの容易性			
Q2/ 3.3.1 空調配管の更新性	スコア 3	Q2/ 2.2.1 躯体材料の耐用年数	スコア 3
Q2/ 3.3.2 給排水管の更新性	スコア 3	公共建築物としては標準的仕様(営繕仕様)	
Q2/ 3.3.3 電気配線の更新性	スコア 3	◇社会的長寿命	
Q2/ 3.3.4 通信配線の更新性	スコア 3	Q2/ 1.1.3 バリアフリー計画	スコア 3
Q2/ 3.3.5 設備機器の更新性	スコア 3	Q2/ 3.1.2 空間の形状・自由さ	スコア 3
(注)上記5項目のスコアの平均が合計点に加算される)		(注)公共建築物として標準的仕様(営繕仕様)と、比較的奥行きを必要としないため空間形状は標準的な比率となっている。	
公共建築物としては標準的仕様(営繕仕様)。			
<b>■省資源</b>		合計点	12 / 20
LR2/ 2.1 材料使用量の削減	スコア 2		
LR2/ 2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	スコア 2		
LR2/ 2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用	スコア 3		
LR2/ 2.6 部材の再利用可能性向上への取組	スコア 5		
仕上げ材に再利用材を採用。			
<b>◆独自加点項目</b>		合計点	2 / 3
LR2/ 2.1 材料使用量の削減	「持続可能な森林から産出された木材」のうち、地域産木材を使用している。		○
LR2/ 2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	「持続可能な森林から産出された木材」のうち、地域産木材を使用している。		○
LR2/ 2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用	「持続可能な森林から産出された木材」のうち、地域産木材を使用している。		○
<b>2 とともに住まう</b>		合計点	30 / 42
<b>■自然とともに住まう</b>		合計点	10 / 15
◇自然を感じられる計画		◇地域環境やコミュニティへの配慮	
Q2/ 1.2.1 広さ感・景観	スコア 4	Q3/ 3.1 地域性への配慮、快適性の向上	スコア 5
Q3/ 1 生物環境の保全と創出	スコア 3	LR3/ 2.2 温熱環境悪化の改善	スコア 3
Q3/ 3.2 敷地内温熱環境の向上	スコア 3	LR3/ 3.3.2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	スコア 3
敷地内の緑化。		地域住民への解放施設を設置。庇・ルーバーの設置。	
<b>■歴史とともに住まう</b>		合計点	8 / 10
◇歴史性への配慮			
Q2/ 1.2.3 内装計画	スコア 3		
Q3/ 3.1 地域性への配慮、快適性の向上	スコア 5		
エントランスロビーへの府内産木材の採用。十条通りへの景観形成をめざした庇の設置。			
<b>◆独自加点項目</b>		合計点	1 / 2
Q2/ 1.2.1 広さ感・景観	京都重点項目による加点により、レベル5を超える。		
LR3/ 3.3.2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	格子状ルーバーや簾状スクリーンによりガラス面等の反射光を抑制している。または外壁に反射率の低い自然素材を採用している等の推奨内容の取組みを、1以上実施している。		○
<b>3 自然からつくる</b>		合計点	40 / 53
<b>■自然材料の利用</b>		合計点	12 / 15
Q2/ 1.2.3 内装計画	スコア 3		
Q3/ 3.1 地域性への配慮、快適性の向上	スコア 5		
LR2/ 2.5 持続可能な森林から産出された木材	スコア 4		
外部庇とルーバーの設置。			
<b>■自然環境の利用</b>		合計点	26 / 35
Q1/ 3.1.1 屋光率	スコア 3	LR1/ 2.1 自然エネルギーの直接利用	スコア 3
Q1/ 3.1.3 屋光利用設備	スコア 3	LR1/ 2.2 自然エネルギーの変換利用	スコア 4
Q1/ 3.2.2 屋光制御	スコア 4	LR2/ 1.2.1 雨水利用システム	スコア 4
Q1/ 4.2.2 自然換気性能	スコア 5		
自然換気・雨水利用(雨水槽)、ルーバー・庇の採用。			
<b>◆独自加点項目</b>		合計点	2 / 3
LR2/ 2.5 持続可能な森林から産出された:	「持続可能な森林から産出された木材」のうち、地域産木材を使用している。		○
Q1/ 3.1.3 屋光利用設備	デザインされた格子状ルーバーやライトシェルフ、軒、庇等、推奨内容の屋光利用設備を採用している。		○
Q1/ 3.2.2 屋光制御	デザインされた格子状ルーバーやライトシェルフ、軒、庇等、推奨内容の屋光利用設備を採用している。		○
<b>4 低炭素景観の創出に関する評価</b>		低炭素景観 取組数	5 / 6項目
<input type="checkbox"/> Q1/3.1.3 屋光利用設備 <input checked="" type="checkbox"/> Q1/3.2.2 屋光制御 <input checked="" type="checkbox"/> Q3/1 生物環境の保全と創出 <input checked="" type="checkbox"/> Q3/3.2 敷地内温熱環境の向上 <input checked="" type="checkbox"/> LR3/2.2 温熱環境悪化の改善 <input checked="" type="checkbox"/> LR3/3.3.2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			
<b>5 ライフサイクルCO<sub>2</sub>とCO<sub>2</sub>削減率</b>			
ライフサイクルCO <sub>2</sub> (ライフサイクルCO <sub>2</sub> 参照値)	90.93	kg-CO <sub>2</sub> /年m <sup>2</sup>	ライフサイクル
CO <sub>2</sub> 削減量	108.48	kg-CO <sub>2</sub> /年m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 削減率
	-17.55	kg-CO <sub>2</sub> /年m <sup>2</sup>	+16.2%
<b>6 ウッドマイレージCO<sub>2</sub>とCO<sub>2</sub>削減率</b>			
ウッドマイレージCO <sub>2</sub>	92	kg-CO <sub>2</sub>	ウッドマイレージ
CO <sub>2</sub> 削減効果	420	kg-CO <sub>2</sub>	CO <sub>2</sub> 削減率
			18%

□ :「CASBEE京都-新築(標準システム)」から転記    ○ :「ウッドマイレージ計算書」から転記    ○ :自由記述入力欄  
 (「4低炭素景観の創出に関する評価」については該当するチェックボックスにチェック)